

社会福祉法人 本郷の森 令和4年度 事業報告書

『本富士生活あんしん拠点』

(本富士地区地域生活支援拠点事業)

4月から■■(1)、■■(1)、■■(0.5)で拠点を運営している。本人・家族からの直接の相談から関りがスタートすることはあまりなく、関係機関からの問い合わせで支援に関わることが増えている。引きこもりなどで直接会うことが難しく、地域の支援者が苦勞されていることを目の当たりにしている。そのため、少しでも力になれることを心がけて日々業務に関わっている。拠点の関りから銀杏企画の通所につながるなど、前進するケースもあるが、現状から進展しないケースも多く、5080 など家族全体の支援が必要なケースは増加傾向で40代以上の方の支援がほとんどである。今後の親亡き後に支援ができる関係づくり、事前の準備の相談ができるように心がけて支援している。また、家族関係・金銭的な支援・金銭トラブルなどの一般相談もあり、関係機関との情報共有や話を聞いてほしい当事者の方など電話での対応も多く、月の対応件数が300件を超えることが続いている。基幹相談支援センターや包括の件数と同等の動きをしている。令和5年3月中旬から■■が新たな拠点の職員として、配属されている。

1. 相談支援

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
220	212	346	309	353	266	369	312	316	306	327	354	3690

電話	2465	知的	542
面接	172	精神	3000
訪問	285	難病	14
支援会議	46	不明	134
その他(FAX・メール等)	722		

- ・新規相談者は月1～2名
- ・夏ごろから相談件数が上がり、毎月300件を超えていることが通常になっている
- ・電話の件数が多いが、リピーターがいることや支援者との連携の多さが影響している。
- ・支援ケースは主に精神障害者、その他は軽度知的障害者も多い。
- ・10月には緊急時の対応で連携が多くなり、過去最多の件数になっている。

【支援内容】

- ・定期面談・訪問(見守り・サービスに繋げるため)、住まい探しのサポート、通院同行、B型・地域活動支援センターなど日中活動の相談、生活に必要なことの助言・同行支援(ワクチン接種、区役所手続き、賃貸の更新、携帯電話の契約等)、同居している家族の入院により、一人残された当事者の短期保護に繋げるための連携、退院にするためのショートステイの利用、GH探しなど
- ・生活に困難さを感じているものの、サービス利用に対しての不安や抵抗感があることもあり、スムーズにサービスをコーディネートすることが難しく、定期的訪問等で見守りを続けている方も多い。
- ・様々な課題が多い方でも支援にのることができずすぐに解決することが難しいケースもある。

2. 地域づくり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
地域づくり	47	47	60	60	60	45	27	18	43	75	58	108	648
サロン利用	0	12	15	13	14	22	6	0	0	11	7	12	112

会議	84
連携	517
行事	29
その他	18

- ・今年度より相談件数と別で地域づくりの件数をカウントすることとなった。3月からはより細かく正確にカウントできるように書式を変更している。
- ・連携は主にコアメンバーで参加している Re なでしこ元町関連のやり取りが多かったが、10月以降は包括や社協と共催になった弁護士連絡会の打ち合わせや調整などの件数も増加している
- ・10・11月は相談件数が多く、地域関係に力を割くのが難しかったため、件数も少なくなっていると思われる。
- ・3月は来年度の活動を検討する打ち合わせが多く件数が増えている。
- ・包括の MT や Re なでしこ元町の会議などが多くなり、会議の件数が増え、関係機関で顔の見える関係がよりできてきている。

・Re なでしこ元町/なでしこサロン

本富士地区にある地域の居場所の運営コアメンバーとして引き続き関わらせていただいている。コロナ禍での開所で地域住民への周知が課題となっていたが、今年度後半から子ども向けのイベントを開催し盛り上がった。イベントでの地域の方の様子を見て、地域の居場所の意義についてコアメンバーが実感することができ達成感に繋がっている。今後も周知や住民と地域とのつながりを作ることを目的に、引き続き継続的にイベントを開催していくことで、話し合っている。

プログラムの1つのなでしこサロンは精神障害者やひきこもり状態にある方が次のステップに進むきっかけになることを目指したプログラムとしてスタートをし、拠点はサポートとして関わっている。利用者があまりいない状態が続いていたが家族会などでの周知を強化し最近では家族の参加が増えている。当事者への周知や活動内容は今後工夫していきたい。

・包括との連携

引き続き、月1回会議や地域ケア個別会議に参加させていただき、障害が関わっているケースの共有・時に助言をしている。包括との連携の面では、自立支援協議会で話題になったことの共有もしている。顔の見える関係ができ、障害分野の地域資源についての問い合わせなどいただく機会が増えた印象がある。

また、元々包括が主催で行っていた弁護士連絡会を今年度より包括・社協との共催で開催し、支援に関係しそうな法的なことについて勉強し合える機会になっている。連絡会をきっかけに本富士地区の指定特定相談支援事業所と顔の見える関係づくりを進めていきたい。

今後、重層的支援体制を整備していく動きがあり、現在のケースワークや会議体を通してのお互いの制度や支援観を共有できる関係性を継続していきたい。

・その他

包括が主催している会議、文京区ひきこもりセンターの研修などに参加。

4月	街ing本郷(会議/撮影)	8月	なでしこカップ(ポッチャ大会)	12月	Reなでしこ元町コア会議
	Reなでしこ元町コア会議		なでしこサロン(社会資源講座担当)		なでしこサロン
	包括本所ケースMT		街ing本郷(交流会/会議)		包括分室ケースMT
	包括分室ケースMT		包括分室ケースMT		包括本所ケースMT
	相談支援事業所連絡会		地域移行圏域別会議		ひきこもり支援従事者研修
5月	なでしこサロン	9月	なでしこサロン	1月	自立支援協議会セミナー(動画参加)
	Reなでしこ元町コア会議		Reなでしこ元町コア会議		なでしこサロン
	地域ケア個別会議		地域ケア連絡会議		街ing本郷
	包括本所ケースMT		包括分室ケースMT		地域ケア個別会議
	包括分室ケースMT		包括本所ケースMT		包括本所ケースMT
	ひきこもり支援従事者研修		本富士地区弁護士連絡会		相談支援事業所連絡会
	第1回地域移行支援会議		ひきこもり支援機関連携強化検討会		なでしこコア会議
6月	Reなでしこ元町コア会議(2回)	10月	相談支援事業所連絡会	2月	指定特定相談事業所連絡会
	なでしこサロン		街ing本郷		なでしこコア会議
	ケアワーク弥生ケアマネ研修		Reなでしこ元町コア会議		相談支援事業所連絡会
	包括本所ケースMT		なでしこサロン		地域移行支援検討会議
	包括民生委員連絡会		包括分室ケースMT		東部まつり
7月	Reなでしこ元町コア会議	11月	包括本所ケースMT	3月	本富士地区弁護士連絡会
	なでしこサロン		本郷百貨店祭り(法人としての参加)		なでしこサロン
	大横丁商店街祭り		精神保健福祉講座		第2回なでしこカップ(ゲーム大会)
	街ing本郷		Reなでしこ元町コア会議		包括分室ケースMT
	地域ケア個別会議	なでしこサロン	なでしこコア会議		
	包括本所ケースMT	第1回なでしこカップ(ポッチャ大会)	地域ケア連絡会議		
	包括分室ケースMT	包括本所ケースMT	包括本所ケースMT		
	権利擁護支援ネットワーク連絡会	包括ケア個別会議	ポッチャ大会		
相談支援事業所連絡会	第2回地域移行支援会議	なでしこサロン			
	相談支援事業所連絡会				

3. 会議・研修

・拠点関係・自立支援協議会

実務者 MT	毎月開催	拠点コア会議	5・7・9・11・1・3月
委託計画関係会議	1・3月		
自立支援協議会 親会	6・10・3月	自立支援協議会 地域生活支援部会	7・12・2月 ※12・2月は相談と合同
自立支援協議会 相談支援部会	7・12・2月 ※12・2月は地域生活と合同	自立支援協議会 当事者部会	10・1月
自立支援協議会 運営会議	8・3月	部会打ち合わせ	9・10・11・12・1・2月

・来年度より委託の指定特定相談支援事業所を併設することになり、1月から委託計画関係の会議に参加している。

・研修関係

6月	ウェルビー意見交換会	10月	中堅職員研修(2日間)
	管理者研修(2日間)		相談支援従事者初任者研修(2日間)
	若手職員向け研修①		リカバリーカレッジ(生活臨床)
	社協研修	11月	虐待防止研修(基幹主催)
若手職員向け研修②	相談支援従事者初任者研修		
7月	事業所実践報告会	12月	都自立支援協議会セミナー
	茗荷谷クラブ研修		ひきこもり支援従事者研修
	若手職員向け研修③		槐の会合同研修
	アビーム・地域生活安心支援事業研修		初任者研修
	みんなの部屋研修		自立支援協議会セミナー
	支援センターあかり研修	1月	東部ブロック研修
統合失調症の認知行動療法研修	第25回ami全国大会		
8月	リアン文京研修	2月	第2回ひきこもり支援従事者養成研修(事例検討会)
	本郷福祉センター 若駒の里研修		地域生活支援拠点研修
	福祉作業所 大塚		地域移行関係職員に対する研修
	人権研修Ⅰ		駒込地区障害勉強会(こましょう)
相談支援従事者初任者研修(2日間)	ひきこもり等自立支援事業～STEP～講演会		
9月	教育センター研修		
	人権研修Ⅱ		
	保健SC・子ども家庭支援センター研修		
	予防対策課研修		
	障害福祉課研修		

4. これから

10月より大塚拠点もスタートし、4圏域(駒込・富坂)がそろい本格スタートしている。拠点の職員で話す機会も増えている。他法人ではあるが、同じ事業に携わる者同士、協力体制ができ、良い関係で刺激しあい運営をしている。今後の課題としては、「緊急時の受入れ、体験の機会・場」などハード面の整備となっている。また、障害の疑いがあれば、なんでも相談していい場として、関係機関から丸投げされてしまうことがあり、他機関との連携の構築をどのようにしていくかが検討課題となっている。

現在の拠点の相談件数が基幹相談センターや包括と変わらないため、障害福祉課から拠点の拡充の話があり、令和5年度4月から拠点の調整員3名・計画0.5名(現在調整員2.5名)と1名職員増員予定で2月に1名採用し、業務に関わってもらっている。